

# 令和3年度 雀宮中学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画、網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

## 1 教育目標（目指す生徒像含む）

【基本目標】 1 心豊かで、思いやりのある生徒の育成（情操）

2 主体的に学び、考え深い生徒の育成（創造）

3 からだを鍛えたくましい生徒の育成（健康）

【めざす生徒像】

思いやりのある生徒

主体的に学ぶ生徒

心身を鍛える生徒

【めざす教師像】

魅力と実践力のある教師

みがき合い高め合う教師

愛情豊かで寄り添える教師

【めざす学校像】

信頼される学校

学び合いともに伸びる学校

地域とともに歩む学校

## 2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

生徒のよりよい成長のためには、教職員がプラス思考で組織的に行動すること、及び教職員と保護者・地域住民とが連携を密にすることが重要である。そこで、地域と一体になった教育活動を展開しながら社会性や郷土愛を育むとともに、生徒及び教職員が、互いに学び合い高め合う集団を形成し、生徒が夢や希望に向かっていきいきと活動できる学校づくりを推進する。

## 3 学校経営の方針（中期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

（1）確かな学力の育成を図り、生徒が自信や志をもち、主体的にいきいきと学べる学校づくりに努める。

（2）豊かな心とたくましい体の育成を目指し、基本的生活習慣の確立と規範意識の醸成、人を思いやる心と人権を尊重する心の育成、及び健康で安全な学校生活の実現に努める。

（3）**信頼される学校・学び合いともに伸びる学校・地域とともに歩む学校**を目指し、家庭や地域との連携・協力を深めながら、創意ある教育活動に努める。

（4）教職員が互いに学び、高め合う協働的な同僚性の育成と専門的資質・能力の向上を図るとともに、業務改善の推進により勤務意欲の向上に努める。

（5）○地域学校園としての「目指す生徒像」の共有を図り、小・中が連携して地域の教育力を生かした教育活動を推進する。

〔雀宮地域学校園教育ビジョン〕

一人一人が自らの良さを自覚し、主体的に学ぶ児童生徒の育成

～ いきいきとした活動を通して ～

## 4 教育課程編成の方針

（1）関係法令、**栃木県教育振興基本計画 2025—教育ビジョンとちぎ—**、第2次宇都宮市学校教育スタンダードや「**令和3年度指導の重点**」に基づき、地域の実態や生徒の発達段階、特性を考慮した特色ある教育活動を展開し、公教育の自覚のもとに、全教職員の理解と協力によって、本校の教育目標の実現を期す教育課程とする。

（2）「人間尊重の精神」を基盤とし、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな生徒の育成を目指し、各教科・道徳科・特別活動、総合的な学習の時間の相互の関連と調和を図る。

（3）学習指導要領に基づいた各教科の目標・指導内容を明確にし、基礎的、基本的な内容の確実な定着と個に応じた適切な学習支援や習熟度別学習等の工夫を図り、個性の伸長と学力向上を目指す教育課程とする。

（4）**学習指導要領の趣旨に則り、教科等横断的な視点で、各教科等の関連付けを図りながら教育課程を編成し、すべての学習の基盤となる読解力や問題発見・解決能力及び現代的な諸課題に対応していくための資質・能力の育成を目指す。**

（5）地域に根ざした豊かな体験活動（地域交流活動、地域貢献活動、社会体験活動）を教育課程に位置づけ、地区内小学校及び高校との連携を図った社会性育成のプログラムとする。

（6）生徒の体力向上及び心身の健康の保持増進に努め、心と体の健康に関する指導や食育をより充実する教育課程とする。

（7）特別支援教育の主旨に基づき、合理的配慮を踏まえて、個に応じた指導体制の整備に努め、学校内外の関係機関やそれらの支援機能を生かした運用を図る。

（8）地域学校園内の小中教員の交流を図るための連絡会議等を年間行事予定に位置づける。

5 今年度の重点目標（短期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

- (1) 学校運営 「業務改善の推進と地域の教育力の活用による、いきいきとした学校づくり」  
 ・業務改善の推進による、職員の勤務意欲の向上と生徒と向き合う時間の確保  
 ○地域の教育力を生かした「地域とともに歩む学校」づくり  
 ・「新しい生活様式」の徹底と特色ある学校づくりを両立した学校運営の工夫
- (2) 学習指導 「基礎的知識・技能を活用しながら、主体的に考え、表現できる生徒の育成」  
 ○基礎・基本の確実な定着と、「わかる、できる」を実感させる授業の工夫・実践  
 ・「主体的・対話的で深い学び」の視点での指導法や学習形態の工夫による「思考力・判断力・表現力」及び「主体的に学習に取り組む態度」の育成  
 ・生徒に、各教科等の「見方・考え方」を働かせて課題に取り組ませるための発問・学習形態の工夫
- (3) 生徒指導 「夢や希望に向かって挑戦する、たくましい生徒の育成」  
 ○温かい人間関係のもとで、自分の良さを発揮しながらいきいきと活動できる生徒の育成  
 ・一人一人の良さを認め、励まし、称賛して自己肯定感・自己有用感を高める指導の充実  
 ・認め合い、励まし合い、助け合う温かみのある集団の形成と、耐性（我慢する、あきらめない、くじけない）を育む指導の充実による、いじめ・不登校等の未然防止  
 ・「新しい生活様式」を意識して、感染防止のために主体的に判断し行動できる生徒の育成
- (4) 健康〈体力・保健・食・安全〉  
 「食と健康に対する関心を深め、体力の向上を目指す生徒の育成」  
 ○生涯を通じて健康なからだを維持していくための基盤づくり  
 ・健康と食の安全確保のための指導の充実と、体力の向上を目指すための工夫を凝らした教育活動の推進

6 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
目指す生徒の姿	A1 生徒は、進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート「生徒は、授業中、話をしっかりと聞いたり、発表したりするなど、進んで学習に取り組んでいる。」 ⇒教職員・生徒の肯定的回答各 80%以上	・より組織的に学力向上を図っていくため、教科部会を通して本校の学力の実態を共有し、到達目標を設定し、共通した指導上の工夫を各教科で検討・実践していく。  ・教員同士で授業を公開し、生徒の学ぶ意欲をより効果的に引き出す授業形態や指導法を互いに探求し合い実践する。	B	【達成状況】 生徒の肯定的回答 94.4%，教職員の肯定的回答 96.9%で、ともに数値目標を上回った。 【次年度の方針】 ・学習指導要領で求められる「主体的・対話的で深い学び」を目指した学力向上をより組織的に図っていくため、本校の学力の実態を踏まえた到達目標を設定して教科部会を定期的実施し、共通した指導上の工夫を各教科で検討・実践していく。また、教員同士で授業を公開し、生徒の学ぶ意欲をより効果的に高める環境や指導法を互いに探求し実践する。
	A2 生徒は、思いやりの心をもっている。 【数値指標】 全体アンケート「生徒は、誰に対しても、思いやりの心をもって優しく接している。」 ⇒各対象者の肯定的回答 80%以上	・道徳の授業を通して道徳的心情の醸成を促す。 ・思いやりをもった行動を賞賛する、生徒会による「サプライズ表彰」制度の充実を図り、思いやりの行動を促す。 ・地域学校園あいさつ運動や地域ボランティア活動への積極的な参加を促す。	B	【達成状況】 肯定的回答は、教職員 96.9%，保護者 93.2%，地域住民 100%，生徒 95.2%で目標を達成した。 【次年度の方針】 ・道徳の授業を通して道徳的心情の醸成を促す。 ・地域社会の中で模範となる生徒の行動を校内で紹介し、日常生活の中で、他を思いやる行動を促す。

<p>A3 生徒は、きまりやマナーを守って、生活をしている。</p> <p>【数値指標】</p> <p>全体アンケート「生徒は、決まりやマナーを守って生活をしている」 ⇒各対象者の肯定的回答 85%以上</p>	<p>・今の自分たちに誇りを持たせる指導を行い、自尊心の向上を目指す。</p> <p>・生徒の考え・意見を尊重し、自主性から主体性へのステップアップを図れるよう指導していく。</p> <p>・「雀中ガイドブック」の周知徹底により、規律のある学校生活を送ることができるようにさせる。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】</p> <p>肯定的回答は教職員 90.6%, 保護者 91.5% 地域住民 100%, 保護者 93.1%で全てにおいて数値目標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・今の自分たちに誇りを持たせる指導を行い、自尊心の向上を目指す。</p> <p>・生徒の考え・意見を尊重し、自主性から主体性へのステップアップを図れるよう指導していく。</p> <p>・「雀中ガイドブック」をクロムブックでいつでも確認できるようにするなど、周知徹底のための工夫をし、規律ある学校生活を送ることができるようにさせる。</p> <p>・「規範意識の高揚」を学校・学級経営の重点目標に掲げ、すべての教員が共通理解のもと取り組んでいく。</p>
<p>A4 生徒は、時と場に応じたあいさつをしている。</p> <p>【数値指標】</p> <p>全体アンケート「生徒は、時と場に応じたあいさつをしている」 ⇒各対象者の肯定的回答 85%以上</p>	<p>・あいさつ運動や地区内小学校と連携した朝の登校指導(あいさつ、声かけ)の実施など、生徒主体の活動を継続する。</p> <p>・PTAや地域との連携強化を図る。</p> <p>・教師が率先垂範を心がける。</p> <p>・あいさつ運動の様子などを、各種通信やHPを通して、学校外へ周知していく。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】</p> <p>今年度は、コロナ禍の影響で、地域学校園あいさつ運動が1回しか実施することができなかったが、肯定的回答は教職員 84.4%, 保護者 90.2%, 地域住民 100%, 生徒 97.1%, であった。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・次年度は、あいさつ運動や地域学校園内小学校と連携した朝の登校指導(あいさつ、声かけ)の実施など、生徒主体の活動を実施する。</p> <p>・地域との連携強化を図る。</p> <p>・教師が率先垂範を心がける。</p> <p>・あいさつ運動の様子などを、各種通信やHPを通して、学校外へ周知していく。</p> <p>・マスクを着用している状況で、大きな声であいさつができない中でも、会釈をするなど、あいさつの重要性を意識させる。</p> <p>・あいさつの意義を考えさせるとともに、良い例を示し、褒めることで意識を高めていく。</p>
<p>A5 生徒は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】</p> <p>全体アンケート「私(生徒)は、夢や目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。」 ⇒教職員、保護者、生徒の肯定的回答各 80%以上</p>	<p>・全校体制で耐性(我慢する、あきらめない、くじけない)を育む指導の充実に取り組む。</p> <p>・生徒が自分の良さを発揮しながらいきいきと活動できるよう、一人一人の良さを認め、励まし、称賛して自己肯定感・自己有用感を高める。</p> <p>・ダイアリーに定期的に一人一人の良さを書いてあげることに努める。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】</p> <p>肯定的回答は、教職員90.6%、保護者80.6%、生徒89.1%で数値目標を達成した。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・生徒が自分の良さを発揮しながらいきいきと活動できるように、教職員は生徒の自己肯定感や自己有用感を高める指導を工夫していきたい。</p> <p>・「耐性(あきらめない、くじけない、我慢する)」を育むための指導を学校教育活動の様々な場面で工夫・実践していく。</p>

<p>A6 生徒は、健康や安全に気を付けて生活している。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「生徒は、健康や安全に気を付けて生活している。」 ⇒各対象者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>・生徒会保健体育委員が、衛生検査を年間を通して継続的に実施する。</p> <p>・生徒が利用できるボールを昇降口に設置し、昼休みに校庭で運動できる環境を整え、運動を促す。</p> <p>・生徒会生活安全委員による、登下校時のマナーアップの呼びかけを行う。</p> <p>・生徒会少年消防クラブによる発表を通して防災・減災意識の高揚を図る。</p>	<p>【達成状況】 肯定的回答は、教職員 87.5%, 保護者 91.7%, 地域住民 100%, 生徒 95.6%で目標を達成した。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・生徒会保健体育委員が、「衛生検査」を年間を通して継続的に実施する。</p> <p>・生徒会給食委員が、「咳エチケット・ランチマット調査」を年間を通して継続的に実施する。</p> <p>・生徒会生活安全委員が、通学路の危険箇所や危険行為を紹介し、登下校時のマナーアップを呼びかける。</p> <p>・生徒が利用できるボールを昇降口に設置し、昼休みに校庭で運動できる環境を整え、運動を促す。</p>
<p>A7 生徒は、夢や目標をもって社会に貢献できるよう努力している。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「私(生徒)は、夢や目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。」 ⇒教職員、保護者、生徒の肯定的回答各 80%以上</p>	<p>・今後も地域の関係団体や自治会との連携のもと、地域行事・地域活動へのボランティア参加を生徒に呼びかけ、地域の一員としての自覚を高める。</p> <p>・宮っ子チャレンジウィークを活用して、社会のためになることを積極的に行う態度や目標に向かって粘り強く取り組む態度を育む。</p>	<p>【達成状況】 肯定的回答は、教職員90.6%、保護者80.6%、生徒89.1%で数値目標を達成した。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・地域ボランティア活動に生徒が積極的に参加し、地域の一員としての自覚を高められるように支援していく。</p>
<p>A8 生徒は、英語を使ってコミュニケーションしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「生徒は、英語の授業や ALT との交流の際に、英語を使ってコミュニケーションしている。」 ⇒教職員・生徒の肯定的回答各 80%以上</p>	<p>・英語で行うことを基本とした英語科授業を実践する。また、基本的事項を活用した自己表現活動や即興の英会話活動を積極的に取り入れ、コミュニケーション能力の伸長を図る。</p> <p>・英語科の授業だけでなくその他の場面で、ALT との交流の機会を多く設定する。</p>	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答 87.1%, 教職員の肯定的回答 90.6%で、ともに数値目標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・英語の授業は英語で行うことを基本として実践を継続する。また、基本的事項を活用した自己表現活動や Teacher's Talk 時も含めた即興の英会話活動を積極的に取り入れ、感情も表現する等のコミュニケーション能力の伸長を図る。</p> <p>・英語の授業だけでなくその他の場面で、ALT との交流の機会を多く設定する。</p>

<p>A9 生徒は、宇都宮の良さを知っている。</p> <p>【数値指標】</p> <p>全体アンケート「生徒は、宇都宮の良さを知っている。」 ⇒教職員・保護者・生徒の肯定的回答各 80%以上</p>	<p>・社会科の授業では、地域の古墳を教材として扱うなどして宇都宮の歴史への理解を深め、特別の教科「道徳」では、宇都宮への郷土愛に触れ、宇都宮への愛情と誇りを持てるようにする。</p> <p>・食育での「宮っ子ランチ」や宇都宮に関する図書の紹介、宇都宮にゆかりのある宇都宮百人一首大会についてなど、各種たよりやホームページ等での積極的な情報発信を図る。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>生徒の肯定的回答 82.5%で数値目標を上回ったが、教職員の肯定的回答 65.6%、保護者の肯定的回答 60.1%で、数値目標を下回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・総合的な学習の時間の「宇都宮学」の年間指導計画の確実な実施と指導内容の充実を図る。</p> <p>・社会科の授業では、地域の古墳を教材として扱うなどして、宇都宮の歴史への理解を深め、特別の教科「道徳」では、郷土愛に触れ、宇都宮への愛情と誇りを持てるようにする。</p> <p>・給食での「宮っ子ランチ」や宇都宮に関する図書の紹介、宇都宮にゆかりのある宇都宮百人一首大会についてなど、各種たよりやホームページ等での積極的な情報発信を図る。</p> <p>・教職員間で、宇都宮の魅力を話し合う機会を設ける。</p>
<p>A10 生徒は、ICT機器や図書等を学習に活用している。</p> <p>【数値指標】</p> <p>全体アンケート「生徒は、ICT機器や図書等を学習に活用している。」 ⇒教職員・生徒の肯定的回答各 80%以上</p>	<p>・学年優先週間を設け、コンピュータ室利用を促進する。</p> <p>・ソフトウェア研修を実施し、タブレット型パソコンの活用推進を図る。</p> <p>・学校ホームページを通して ICT 機器利用や図書室利用状況を積極的に発信する。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>肯定的回答は、教職員 93.8%、保護者 80.6%、生徒 84.6%で目標を達成した。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・クロムブックやAIドリルの積極的な活用を推進する。</p> <p>・AIドリルの活用を「朝の学習」に位置づけ、継続的な活用を図る。</p> <p>・ICT支援員の協力を得て、クロムブック活用の技能向上を図る。</p> <p>・学校ホームページを通して ICT 機器利用や図書室利用状況を積極的に発信する。</p>
<p>A11 生徒は、高齢者に対する感謝やいたわりの心をもっている。</p> <p>【数値指標】</p> <p>全体アンケート「生徒は、誰に対しても、思いやりの心をもって優しく接している。」 ⇒各対象者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>・道徳科の授業を通して高齢者に対する感謝やいたわりの心の醸成を促す。</p> <p>・地域学校園あいさつ運動や地域ボランティア活動への積極的な参加を促すとともに、高齢者との交流の場を計画的に設定する。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>肯定的回答は、教職員 96.9%、保護者 93.2%、地域住民 100%、生徒 95.2%で目標を達成した。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・道徳科の授業を通して高齢者に対する感謝やいたわりの心の醸成を促す。</p> <p>・地域ボランティア活動への参加や読み聞かせボランティアなど高齢者との交流の場を計画的に設定する。</p>
<p>A12 生徒は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。</p> <p>【数値指標】</p> <p>全体アンケート「生徒は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。」 ⇒生徒・教職員の肯定的回答各 80%以上</p>	<p>・教職員自ら、持続可能な社会の理解について自己研修に努め、普段の生活に生かすよう努める。</p> <p>・特設コーナーを設置して、環境や人権に関するポスターを掲示するなどして、生徒の意識の高揚を図る。</p> <p>・古紙回収やプラスチックごみ分別の徹底を図るなど、生徒の実践力を高める。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>肯定的回答は教職員 65.6%、生徒 81.4%で、生徒は数値目標を達成した。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・教職員は持続可能な社会について、理解を深め、研修等を通して、日頃からの様々な教育活動に生かせるように努力する。</p>

目 指 す 学 校 の 姿	<p>B1 生徒は、自分の良いところを理解している。</p> <p>【数値指標】</p> <p>全体アンケート「私には、良いところや頑張っていることがある」 ⇒生徒の肯定的回答 80%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多角的な視点で目を配り、生徒の良い言動を見取り称賛し、自己肯定感を高めさせる。</li> <li>・教育相談や学級活動等を活用して、生徒が自己理解を深め、自分の良さに気付くことができるよう支援する。</li> <li>・生徒同士が互いの良さを認め合うことのできる学級づくりに取り組む。</li> </ul>	<p>B</p> <p>【達成状況】</p> <p>肯定的回答は生徒が 89.8%で数値目標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多角的な視点で目を配り、生徒の良い言動を見取り、称賛し、自己肯定感を高めさせる。</li> <li>・教育相談や学級活動等を活用して、生徒が自己理解を深め、自分の良さに気付くことができるよう支援する。</li> <li>・生徒同士が互いの良さを認め合うことのできる学級づくりに取り組む。</li> </ul>
	<p>B2 生徒は、家庭学習の習慣を身に付けている。</p> <p>【数値指標】</p> <p>全体アンケート「私は、毎日家庭学習に取り組んでいる」 ⇒生徒の肯定的回答 90%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭学習ノートの効果的な活用を工夫し、授業の復讐を中心にした学習習慣の定着を図る。</li> <li>・能力に応じた学習目標の設定と実施内容の精査などについて、個別の支援を充実させる。</li> </ul>	<p>B</p> <p>【達成状況】</p> <p>生徒の肯定的回答 95.0%、で数値目標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭学習ノートの提出率については一定の成果を収められている。その日の授業の復習を主眼とした今年度の取組を継続する。また、能力に応じた学習目標の設定と学習内容の精査などについて、自ら学ぶ力の育成を個別の支援として充実させる。</li> </ul>
	<p>A13 教職員は、特別な支援を必要とする生徒の実態に応じて、適切な支援をしている。</p> <p>【数値指標】</p> <p>全体アンケート「教職員は、特別な支援を必要とする生徒の実態に応じて、適切な支援をしている。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒一人一人の特性や障がい把握し、教職員間で支援の方法など共通理解を図る。</li> <li>・特別な支援が必要な生徒に対して、個別の教育支援計画や個別の指導計画を作成・活用し、学校全体で指導にあたる。</li> <li>・保護者やスクールカウンセラー、メンタルサポーター、関係機関と連携して支援する。</li> </ul>	<p>B</p> <p>【達成状況】</p> <p>教職員の肯定的回答は 93.8%で、数値目標を大きく上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別な支援が必要な生徒に対して、個別の教育支援計画や個別の指導計画を作成・活用し、情報を共有しながら学校全体で指導にあたる。</li> <li>・保護者やスクールカウンセラー、メンタルサポーター、関係機関と連携して支援する。</li> </ul>
	<p>A14 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。</p> <p>【数値指標】</p> <p>全体アンケート「学校は、いじめ対策に熱心に取り組んでいる。」 ⇒各対象者の肯定的回答 80%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校だよりや生徒指導だより、学校ホームページ、保護者会などで、生徒・保護者・地域住民に向けて本校のいじめ対策について積極的に情報を発信していく。</li> <li>・いじめゼロ集会など生徒主体のいじめ撲滅に向けた活動を実施して、いじめ等の未然防止を図り、「信頼される学校づくり」に努める。</li> <li>・いじめアンケートの実施により、未然防止と早期発見・早期対応の徹底を図る。</li> </ul>	<p>B</p> <p>【達成状況】</p> <p>教職員の肯定的回答は 96.9%、保護者の肯定的回答 76.5%、生徒の肯定的回答 96.5%であった。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校だよりや生徒指導だより、学校ホームページ、保護者会などで、生徒・保護者・地域住民に向けて本校のいじめ対策について積極的に情報を発信していく。</li> <li>・いじめゼロ集会など生徒主体のいじめ撲滅に向けた活動を実施して、いじめ等の未然防止を図り、「信頼される学校づくり」に努める。</li> <li>・いじめアンケートの年4回の実施により、未然防止と早期発見・早期対応の徹底を図る。</li> <li>・SNSなどの使い方の注意点や、危険性について継続的に指導していく。</li> </ul>

<p>A15 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。</p> <p>【数値指標】</p> <p>全体アンケート「教職員は、不登校を生まないよう一人一人の生徒を大切に、生徒がともに認め励まし合う学級づくりを行っている。」</p> <p>⇒教職員・生徒・保護者の肯定的回答各 80%以上</p>	<p>・欠席時には電話連絡や家庭訪問を積極的に行う。</p> <p>・生徒の情報を早期に共有し、担任だけでなく複数の教員で支援する。</p> <p>・スクールカウンセラーやメンタルサポーター、保護者等との連携体制を強化する(教育相談部会の充実)。</p> <p>・教育相談週間に加え、常時、チャンス相談を活用して、生徒の悩みや不安への早期対応に努める。</p> <p>・温かい雰囲気学の学級経営及び、互いに認め合い、助け合う集団づくりに努める。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>肯定的回答は教職員が 96.9%，生徒が 97.5%，保護者が 88.3%と数値目標を大きく上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・生徒の欠席時には電話連絡や家庭訪問を積極的に行う。</p> <p>・生徒の情報を職員同士で早期に共有し、担任だけでなく複数の教員で支援する。</p> <p>・スクールカウンセラーやメンタルサポーター、保護者等との連携体制を強化する(教育相談部会の充実)。</p> <p>・教育相談週間に加え、常時、チャンス相談を活用して、生徒の悩みや不安への早期対応に努める。</p> <p>・耐性(あきらめない、くじけない、我慢する)を育む指導の充実に努める。</p> <p>・温かい雰囲気学の学級経営及び、互いに認め合い、助け合う集団づくりに努める。</p>
<p>A16 教職員は、外国人生徒等の実態に応じて、適切な支援をしている。</p> <p>【数値指標】</p> <p>全体アンケート「教職員は、特別な支援を必要とする生徒や外国人生徒等の実態に応じて、適切な支援をしている。」</p> <p>⇒教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>・外国人生徒の願いや実態把握に努める。</p> <p>・関係機関と連携しながら支援にあたる。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>教職員の肯定的回答は 93.8%で、目標を達成した。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・現時点では外国人生徒は在籍していないが、必要に応じて今後も以下の取組を行う。</p> <p>・外国人生徒の願いや実態把握に努める。</p> <p>・関係機関と連携しながら支援にあたる。</p>
<p>A17 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。</p> <p>【数値指標】</p> <p>全体アンケート「学校全体に活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。」</p> <p>⇒各対象者の肯定的回答 90%以上</p>	<p>・生徒を認め、励ます教育を推進して教職員と生徒の温かい人間関係、信頼関係を構築する。</p> <p>・実行委員会を中心とした生徒の主体的な活動を多く取り入れ、達成感や充実感が味わえるようにする。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>肯定的回答は、教職員・保護者・地域住民・生徒共に肯定回答は 90%以上で目標を達成することができた。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・長引くコロナ禍の中でも、互いを思いやる気持ち、主体的な学び、心身を鍛える生徒の育成に努める。</p> <p>・学校行事が変更される中でも実行委員会を中心とした生徒主体の活動を支援・工夫して行い、達成感や充実感が味わえるようにする。</p>
<p>A18 教職員は、分かる授業や生徒にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。</p> <p>【数値指標】</p> <p>全体アンケート「教職員は、分かりやすい授業や一人一人へのきめ細かな指導をしている。」</p> <p>⇒教職員・保護者・生徒の肯定的回答各 80%以上</p>	<p>・「思考力・判断力・表現力」の育成を図るため、一人一公開授業や教科部会などの校内研修を実施しながら、「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善に取り組む。</p> <p>・学習目標の提示と振り返り活動の確実な実施を継続させ、生徒がわかったことを実感できる授業作りに努める。</p> <p>・生徒一人一人の理解度に応じた指導を充実させるため、ティームティーチングや習熟度別学習のより効果的な運用に努めるなどして、基礎・基本の確実な定着を図る。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>生徒の肯定的回答 95.8%，教職員の肯定的回答 96.9%，保護者の肯定的回答 84.5%で、全て数値目標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・「思考力・判断力・表現力」の育成を図るため、一人一公開授業や教科部会などの校内研修を実施しながら、「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善や、生徒に「見方・考え方」を働かせて課題に取り組ませるための発問・学習形態の工夫に取り組む。</p> <p>・学習目標の明確な提示と振り返り活動の確実な実施を継続させ、生徒がわかったことを実感できる授業作りに努める。</p> <p>・生徒一人一人の理解度に応じた指導を充実させるため、AIドリルを活用したり、ティームティーチングや習熟度別学習のより効果的な運用に努めたりするなどして、基礎・基本の確実な定着を図る。</p>

<p>A19 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。」 ⇒教職員の肯定的回答80%以上</p>	<p>・全教職員がそれぞれの専門性を生かしながらチームとして取り組み、学習指導や生徒指導の充実を図っていく。</p> <p>・スクールカウンセラー、メンタルサポーター等が参加するケース会議を積極的に開催し、多様な専門性に基づく情報交換を行う。</p> <p>・習熟度別学習やチーム・ティーチングの積極的な実施、かがやきルーム指導員との連携強化により、基礎学力の向上を図る。</p>	<p>【達成状況】 教職員の肯定的回答は93.8%で目標を達成したが昨年度より3.8%減少しており見直ししていく必要がある。</p> <p>【次年度の方針】 ・全教職員がそれぞれの専門性を生かしながらチームとして取り組み、共通理解のもと、学習指導や生徒指導の充実を図っていく。 ・スクールカウンセラー、メンタルサポーター、特別支援教育コーディネーター等が参加するケース会議や職員研修を年間を通して積極的に開催し、多様な専門性に基づく情報交換を行う。 ・習熟度別学習やチーム・ティーチングの積極的な実施、かがやきルーム指導員との連携強化により、基礎学力の向上を図る。</p>
<p>A20 学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。」 ⇒教職員の肯定的回答80%以上</p>	<p>・他校の事例を積極的に収集し、自校化を図る。</p> <p>・教職員の時間に関する意識改革やICTの活用による業務の効率化を図るなどして、「授業の改善を図るための時間」や「生徒と向き合うための時間」の確保に努める。</p>	<p>【達成状況】 教職員の肯定的回答は71.9%で目標を達成することができなかった。昨年度は77.5%であったが、本年度は71.9%で5.6%低下した。</p> <p>【次年度の方針】 ・引き続き業務改善に対する職員の意識改革を図っていく。 ・「授業の改善を図るための時間」や「生徒と向き合うための時間」の確保に努める為の具体的な方策を教職員間で出し合うための場を設定し、実践していく。</p>
<p>A21 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「学校は、小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。」 ⇒各対象者の肯定的回答各80%以上</p>	<p>・小中の交流活動を継続して行い、小中一貫教育・地域学校園の取組を強化していく。</p> <p>・学校園だよりや学校だより・学校HPを活用して、地域学校園の取組を保護者・地域住民に周知する。</p>	<p>【達成状況】 肯定的回答は教職員、保護者、地域住民共に昨年度上回り目標を達成することができたが、生徒は71.9%で目標を達成する事ができなかった。</p> <p>【次年度の方針】 ・交流活動の減少に伴い参加する生徒が限られてしまい「小中一貫・地域学校園」としての取組を周知し理解させることが難しい。少ない活動で、参加生徒も少ないが活動していることを周知していく。 ・学校園だよりや学校だより・学校HPを活用して、地域学校園の取組を保護者・地域住民に周知する。</p>
<p>A22 学校は、地域の教育力を生かした特色ある教育活動を展開している。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。」 ⇒教職員・保護者・地域住民の肯定的回答各85%以上</p>	<p>・学校支援ボランティアの協力を得て、学校の環境整備の充実を図る。</p> <p>・学校だよりや各種だよりを定期的に発行するとともに、ホームページを随時更新するなどして、学校から情報を積極的に発信し、家庭・地域に連携を呼びかける。</p>	<p>【達成状況】 肯定的回答は教職員93.8%、保護者84.5%、地域住民100%、生徒87.1%で、保護者は数値目標を達成できなかった。</p> <p>【次年度の方針】 ・学校だよりや学校HPを活用して、学校支援ボランティアの活動を保護者、地域住民に周知する。 ・「働く人に学ぶ」など、地域の人材を有効に活用した教育活動を工夫・実践していく。</p>



<p>A23 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、よりよい生徒の育成に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】</p> <p>全体アンケート「学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。」 ⇒教職員・保護者・地域住民の肯定的回答各85%以上</p>	<p>・生徒のボランティア活動引率等について、PTAと今後とも継続的に連携を進めていく。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <p>肯定的回答は教職員93.8%、保護者84.5%、地域住民100%、生徒87.1%で、保護者は数値目標を達成できなかった。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・地域ボランティアやPTAと協力をして、地域の教育力を生かした活動を推進していく。 ・生徒が参加する地域ボランティア活動の在り方を工夫・改善していく。 ・キャリア教育への生徒の意識を高めるため、外部講師等を積極的に活用するとともに、宮っ子チャレンジウィークを積極的に継続的に活用する。</p>
<p>A24 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。</p> <p>【数値指標】</p> <p>全体アンケートの「学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。」 ⇒教職員・保護者・地域住民の肯定的回答80%以上</p>	<p>・避難所開設時を含めた校内安全点検を確実に実施するとともに、市や地域関係者と連携して利用者の安全確保に努める。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <p>肯定的回答は教職員93.8%、保護者92.1%、地域住民100%で、目標を達成した。避難所開設にあたり防災用具の充実が図られた。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・今後も、避難所開設時を含めた校内安全点検を確実に実施するとともに、市や地域関係者と連携して利用者の安全確保に努める。</p>
<p>A25 学校は、学習に必要なICT機器や図書等を整えている。</p> <p>【数値指標】</p> <p>全体アンケート「生徒は、ICT機器や図書等を学習に活用している。」 ⇒生徒・教職員の肯定的回答各80%以上</p>	<p>・学年優先週間を設け、コンピュータ室利用を促進する。</p> <p>・ソフトウェア研修を実施し、タブレット型パソコンの活用推進を図る。</p> <p>・学校ホームページを通してICT機器利用や図書室利用状況を積極的に発信する。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <p>肯定的回答は、教職員93.8%、保護者80.6%、生徒84.6%で目標を達成した。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・クロムブックの積極的な活用を推進する。 ・ウェブによる情報の偏りを補正したり、情報を多面的に捉えたり情報リテラシーの向上を図るため、図書の利用を促す。 ・学校ホームページを通してICT機器利用や図書室利用状況を積極的に発信する。</p>
<p>B3 教師は、生徒の良さや頑張りを認め、ほめている。</p> <p>【数値指標】</p> <p>全体アンケート「先生方は、生徒の良いところや頑張ったことをほめてくれる」 ⇒教職員・生徒の肯定的回答各85%以上</p>	<p>・道徳科の授業や学級活動、学校行事、部活動をはじめ、日常生活の中で一人一人の良さを認め、励まし、称賛して、生徒が自己肯定感を高めることができるよう、全校体制で取り組む。</p> <p>・生徒理解を深めることができるよう、教職員間で生徒に関する情報交換を積極的に行う。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <p>肯定的回答は教職員が100%、生徒が97.3%と数値目標を大きく上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・道徳科の授業や学級活動、学校行事、部活動をはじめ、日常生活の中で一人一人の良さを認め、励まし、称賛して、生徒が自己肯定感を高めることができるよう、全校体制で取り組む。</p> <p>・生徒理解を深めることができるよう、教職員間で生徒に関する情報交換を積極的に行う。</p>

<p>本校 の 特 色 ・ 課 題</p>	<p>B4 生徒は、雀中そーらんや合唱コンクールなどの行事に精一杯取り組み、やり遂げた。</p> <p>【数値指標】</p> <p>全体アンケート「私は、雀中そーらんや合唱コンクールに精一杯取り組み、やりとげることができた」 ⇒生徒の肯定的回答 95%</p>	<p>・生徒主体の取組を展開し、認め、励まし合い、仲間と共によりよいものを創り出そうとする意識や、目標に向かって粘り強く努力するなどの豊かな心の醸成に努める。</p> <p>・本校の伝統を大切にし、指導用DVDを作成して練習の方法等について工夫するなど、教職員・生徒に過度な負担がかからないよう配慮する。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】</p> <p>コロナ禍の中で雀中そーらんは、昨年度同様学年ごとの演舞となったが、生徒の肯定的回答は昨年より 1.3%アップの 99.2%で目標を達成した。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・今後も生徒主体の取組を実践し、認め、励まし合い、仲間と共によりよいものを創り出そうとする意識や、目標に向かって粘り強く努力するなどの豊かな心の醸成に努める。</p> <p>・本校の伝統を大切にしつつ、来年度からはそーらんの審査は廃止し、教職員・生徒に過度な負担がかからないよう配慮する。</p>
---	--	--	--

#### 〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- ・A1「生徒は、授業中、話をしっかりと聞いたり、発表したりするなど、進んで学習に取り組んでいる。」では、教職員、保護者、生徒とも肯定回答は市の平均値を上回っている。これは、本校の重点目標「基礎的知識・技能を活用しながら、主体的に考え、表現できる生徒の育成」に基づき、教職員が主体的・対話的で深い学びを実践していることによるものと考えられる。今後も生徒の学力向上に向けた授業の改善に取り組んでいく。
  - ・B4「生徒は、雀中そーらんや合唱コンクールなどの行事に精一杯取り組み、やり遂げた。」における肯定的回答は、例年と同様、非常に高い数値となっている。昨年度に引き続きコロナ禍の中、活動時間が制限される中にもかかわらず、教職員・保護者・地域住民・生徒の肯定回答は昨年を上回った。制限される中でも精一杯全力で取り組み、達成感を味わさせることが出来たと考える。両行事とも、保護者や地域住民から愛されており、生徒もやり遂げることで自信と誇りを持つことができていく。今後もこれらの行事を大切にしていきたい。
  - ・本年度は、29項目中8項目で目標を達成することができなかった。次年度は、重点課題や改善策について教職員への周知徹底を図り、目標を達成するための具体的な取組の充実を図っていく。
- 目標を達成することができなかった項目**
- ・A4 生徒は時と場に応じたあいさつをしている。
  - ・A9 生徒は、宇都宮の良さを知っている。
  - ・A12 生徒は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。
  - ・A14 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。
  - ・A20 学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。
  - ・A21 学校は、「小中一貫・地域学校園」の取組を行っている。
  - ・A22 学校は、地域の教育力を生かした特色ある教育活動を展開している。
  - ・A23 学校は、家庭・地域・企業と連携・協力して、よりよい生徒の育成に取り組んでいる。
- ・A4 については教職員の肯定回答が 0.6% 足りなかった。本校の特色である「あいさつ」が今までよりは出来なくなってきたと感じる職員のあらわれであると思われる。教職員のあいさつの指導に対する意識を高めていく。
- A21 については、中学生が小学校を訪問して行うあいさつ運動などが、「小中一貫・地域学校園」の取組であるが、昨年度に引き続き実施することが出来なかった。そのため生徒の肯定的回答の割合は低下している。対面での活動を自粛する中で生徒に意識付けしていくのは難しい。
- ・A20 については、市の平均は上回っているが業務改善を積極的に行い、教職員の意識改革を図っていく。
- ・A23 については、保護者の肯定回答が 0.5% 足りなかった。ボランティア活動が盛んな本校ではあるが中止・縮小の状況に加え、宮っ子チャレンジウィークの中止により連携・協力が不足したと考えられる。

## 7 学校関係者評価

- ・ A10・25 クロムブックの活用など見ていると、生徒や保護者の回答結果がもっと高くてもよいのではと感じた。活用方法にはまだまだ広がりがあると思うので、教職員の皆様には、ICTの活用など更なる工夫により分かる授業に努めていただけますようお願いいたします。
- ・ A7 昨年に引き続き、地域のイベントの中止、縮小などにより生徒の皆さんのボランティア活動の場が少ない状況でした。次年度は、多くのイベントが以前のように開催でき、ボランティア活動に参加できるよう期待しています。
- ・ A14・18・B3 これらの項目で生徒の肯定回答が高いのは非常に喜ばしいことである。教職員の皆様の努力によるものと感謝いたします。
- ・ A20 肯定回答が低いのは非常に残念なことである。解決することが非常に難しいものであることは理解しております。1 学校のみでの努力では難しいことも。社会全体で、教職員の負担軽減を考える必要があります。今後も、少しでも業務の効率化に努めていただきますようお願いいたします。
- ・ A4 登下校時にあいさつは、大変よく出来ており地域住民からも喜ばれております。これからもご指導を宜しく願います。
- ・ A4 生徒は時と場に応じたあいさつをしている。とありますが学校に訪問した際に依然と比べてあいさつをしてくれる生徒が少なくなった様に感じました。コロナ禍で大きな声では無理なところではありますが、やはりあいさつをすることは将来に向けて大事なことになりますので、学校であいさつの指導がなくなる様にして頂きたいと思っております。お忙しい中ではありますが、学校の雰囲気も良くなりますのでよろしくお願いいたします。
- ・ 全ての項目において肯定回答の割合が高く、特に生徒が学校生活に満足し前向きに生活していることが伺われ素晴らしいと思います。
- ・ A14,15,18 の項目では 95%以上の割合となり、教職員の皆様が生徒と向き合い熱心に指導されている成果であると思います。
- ・ A4 の「あいさつ」については、以前と比べて出来なくなっているとの評価ですが、校内はもちろん校外でもきもちよい「あいさつ」ができておりいつも感心しています。
- ・ コロナ禍も 3 年目となりますと、多くの学校で、諸々の歪みが多方面で表面化してきていると伺っております。雀宮中学校では教職員の皆様、保護者や生徒の皆様が一丸となって頑張っている様子が、達成状況の肯定回答の数値が高いことから伺われ、大変嬉しく、また頼もしく感じました。それでも 2、3 気になりました点を上げさせていただきます。
- ・ A14 の「教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している」の項目ですが、教職員と生徒の肯定回答と、保護者の肯定回答に 20%も差があることが気になりました。多くの事が正常でないコロナ禍の日々、思春期の生徒にとって大人以上にストレスを抱えているのではないのでしょうか。(いじめ)とまではいなくても不安定な危なっかしい精神状態を、保護者は非常に心配しているのではないかと考えます。
- ・ A20 の「学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務効率化に取り組んでいる」の項目の肯定回答が低いのは、コロナ対策、ZOOM 授業など、教職員の方々に過重な負担がかかっていることが伺われ、少しでも軽減されることを願っています。
- ・ A21 「学校は小中一貫教育・地域学校園の組織を行っている」は目標達成の回答が低いのは、人との接触や、活動が制限されている昨今、やむを得ないことと推察いたします。コロナが終息し、1 日も早く正常な状態で学校生活を送れますよう祈っております。
- ・ 学校評価結果を拝見し、大半が目標を達成する素晴らしい結果と思います。学校方針、目標を定め地道な生徒指導の努力結果です。コロナ禍のなか、特に 3 年生は受験を控え、精神的にもストレスが多い時期なので、ご指導を宜しくをお願いいたします。
- ・ いつ終わるか分からないコロナ禍の中又思うような行事等も出来ないままであり先生方、生徒さん達の苦労が思いめぐります。中学校に伺う機会も少ないですが、地域内での生徒さん達はお年寄りに気を遣う場面や生徒さん達が明るく生活している様子が伺えます。まだまだ大変かと思いますがよろしくお願いします。
- ・ 近年、コロナ感染防止のため各地域との活動行事が中止となっているが、最近では 10 月の清掃活動、文化祭での活動や下校時でのふれあいが少ないが、生徒意気込みや礼儀で達成感や主体性を感じている。これらを見ると先生方の指導あつての賜物と思っている。
- ・ 達成状況評価で地域住民 100%達成が多いが、少し関心が薄く、更なる促進や高揚に高まらないのではと反省している。
- ・ 学校教育の目標理念の方針に沿った先生方のご尽力に感謝の限りです。この地に移住以来、雀宮中学校との 40 数年のお付き合い、PTA・補導員・保護司・VG すずめ等の活動の中で、一地域住民として「困っている一人の子どもや大人も見逃さない」地域づくりを目指して頑張ってきたつもりです。理解できないような生徒や家庭との（薬物・非行・家庭崩壊等）付き合いもありましたが、生徒会役員や担当先生と我が家で検討を重ねたり、ボランティア活動の実践に頑張った時期が、今では嘘のようにさえ思えます。全ての命を尊重し何事も自ら考え実践で

きる生徒。そんな学校になってきていることを実感できていますし、挨拶をはじめとして相互扶助の精神こそ、今一番問われるのは、私たち地域住民であり、生徒たちに見習うべきことと痛感しています。少し気になるのは、地域住民との挨拶が少なくなっていることでしょうか。

- ・全ての項目において、教職員および生徒の肯定回答の割合が非常に高く、また、地域住民の方や保護者の方も同様に感じていらっしゃることから、学校教育について大変理解が得られていること、満足感があることが伺えます。本校児童も小中一貫地域学校園として、取り組みを継続し、成長を見守りたいと思います。一年間ありがとうございました。
- ・中学校と地域が連携、協働し地域の子供は地域で育てると言う目標、目的に向かって、地域の皆さんが理解・協力し、環境整備のための清掃活動、学校の中だけでは体験できない自然体験、子供たちの安全確保のための登下校のあいさつ・見守りなど、地域の力を生かした様々な活動により、先生や親、兄弟や友達だけでなく、地域の大人とも関わりを持つことで、子供達には社会性が育まれ、世の中の仕組みを学ぶことができるものと考えています。私たちは、これからも精一杯、少年少女の健全育成を支援して参ります。

## 8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- ・今年度の学校の重点目標、それへの取組と成果について、十分な活動が出来ない状況が続く中でも工夫して取組んだ結果、概ね良い評価をいただいた。しかし取組が見えずらく評価しにくい項目は次年度の課題である。次年度は以下の目標を設定し、いきいきとした学校づくりを推進する。（下線部が最重点項目）
- （１）学校運営 「業務改善の推進と地域の教育力の活用による、いきいきとした学校づくり」
  - ・業務改善の推進による、職員の勤務意欲の向上と生徒と向き合う時間の確保
  - 地域の教育力を生かした「地域とともに歩む学校」づくり
  - ・「新しい生活様式」の徹底と特色ある学校づくりを両立した学校運営の工夫
- （２）学習指導 「基礎的知識・技能を活用しながら、主体的に考え、表現できる生徒の育成」
  - 基礎・基本の確実な定着と、「わかる、できる」を実感させる授業の工夫・実践
  - ・ICTの計画的・効果的な活用による「主体的・対話的で深い学び」の視点での授業改善と「主体的に学習に取り組む態度」の育成
  - ・生徒に、各教科等の「見方・考え方」を働かせて思考・判断・表現等を促すための発問・学習形態の工夫
- （３）生徒指導 「夢や希望に向かって挑戦する、たくましい生徒の育成」
  - 温かい人間関係のもとで、自分の良さを発揮しながらいきいきと活動できる生徒の育成
  - ・一人一人の良さを認め、励まし、称賛して自己肯定感・自己有用感を高める指導の充実
  - ・認め合い、励まし合い、助け合う温かみのある集団の形成と、耐性（我慢する、あきらめない、くじけない）を育む指導の充実による、いじめ・不登校等の未然防止
  - ・「新しい生活様式」を意識して、感染防止のために主体的に判断し行動できる生徒の育成